

TrustMarkingBasic®

隠し印刷で情報漏えいを抑止



紙文書の情報漏えいリスクに「隠し印刷」などで対応。 機密文書や重要文書への セキュリティ対策が簡単に実現できます。

情報漏えいのリスクが最も高く、しかも、漏えいに対する対策が最も遅れているといわれる紙のドキュメント。

原本の管理は十分でも、コピーされて持ち出されると、漏えい抑止はほとんど不可能といえます。

富士フィルムビジネスイノベーションは、こうした紙文書の情報漏えいを抑止・分析するしくみとして

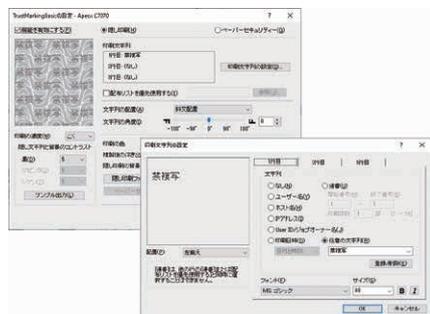
TrustMarkingBasicを提供。

オンデマンドによる容易な紙文書のセキュリティ対策により、お客様のセキュリティ基盤の一段の強化を支援します。

隠し文字印刷でプリント文書の 情報漏えいを抑止*

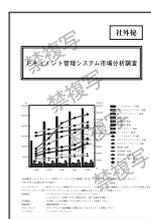
TrustMarkingBasicをユーザーのパソコンにインストールすることで、コピーすると浮き出す「隠し文字列」の含まれた文書のプリントが可能になります。プリンタードライバと連動した簡単操作で、紙文書のセキュリティ対策が容易に行えます。

*TrustMarkingBasicは有償ソフトウェアですが、ペーパーセキュリティ機能を除いた隠し印刷機能のみであれば当社公式ホームページよりダウンロードできる無償ソフトウェアTrustMarkingBasic Lightでご利用いただけます。



文字列のスタンプ機能

プリント時に指定した文字列を文書の背景に目に見えるように埋め込む機能です。隠し文字列は半角24文字(全角は12文字)×3行まで。指定された



スタンプ例

文字列は繰り返し印字されます。「禁複写」[VOID]などの固定文字列に加え、任意の文字列、ユーザー名、印刷日時、IPアドレス、UserID/ジョブオーナー名など出所を特定するための管理情報を各行に1項目ずつ埋め込みます。文書の責任管理を明確にすることで、不正コピー抑止効果が得られます。

連番指定印刷

たとえば50部出力時には1～50までの番号を「隠し文字」として自動的にプリントできます。

配付リスト指定印刷

あらかじめ作成した配布リストの情報に基づいて、氏名などの固有の「隠し文字」を配付先ごとに埋め込んだ文書を1回の指示で簡単にプリントできます。会議の配付資料など、配付先を特定する場合に有効です。

文字の傾き、フォント種別、 フォントサイズ指定

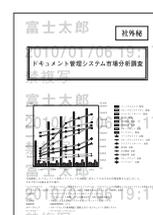
文字の傾き、フォント種類、文字サイズは、それぞれ任意に指定できます。



文字傾き45°の例

複製後の浮き出し効果

隠し印刷をコピーしたときの効果を「文字列を浮き上がらせる」「文字列を白抜きにする」から選択できます。



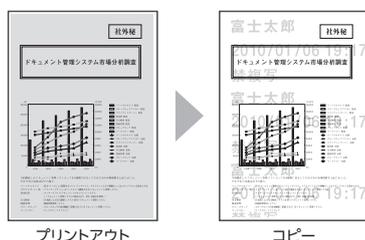
文字列を浮き上がらせる



文字列を白抜きする

隠し印刷機能

プリント時に、「隠し文字」が含まれたプリントパターンを付加します。文書をコピーするとプリントパターンに隠された文字列が浮かび上がりますので、不正コピーを抑止する効果があります。また、原本とコピーとの区別が明確になるので、原本性の確保を必要とする業務に適しています。



プリントアウト

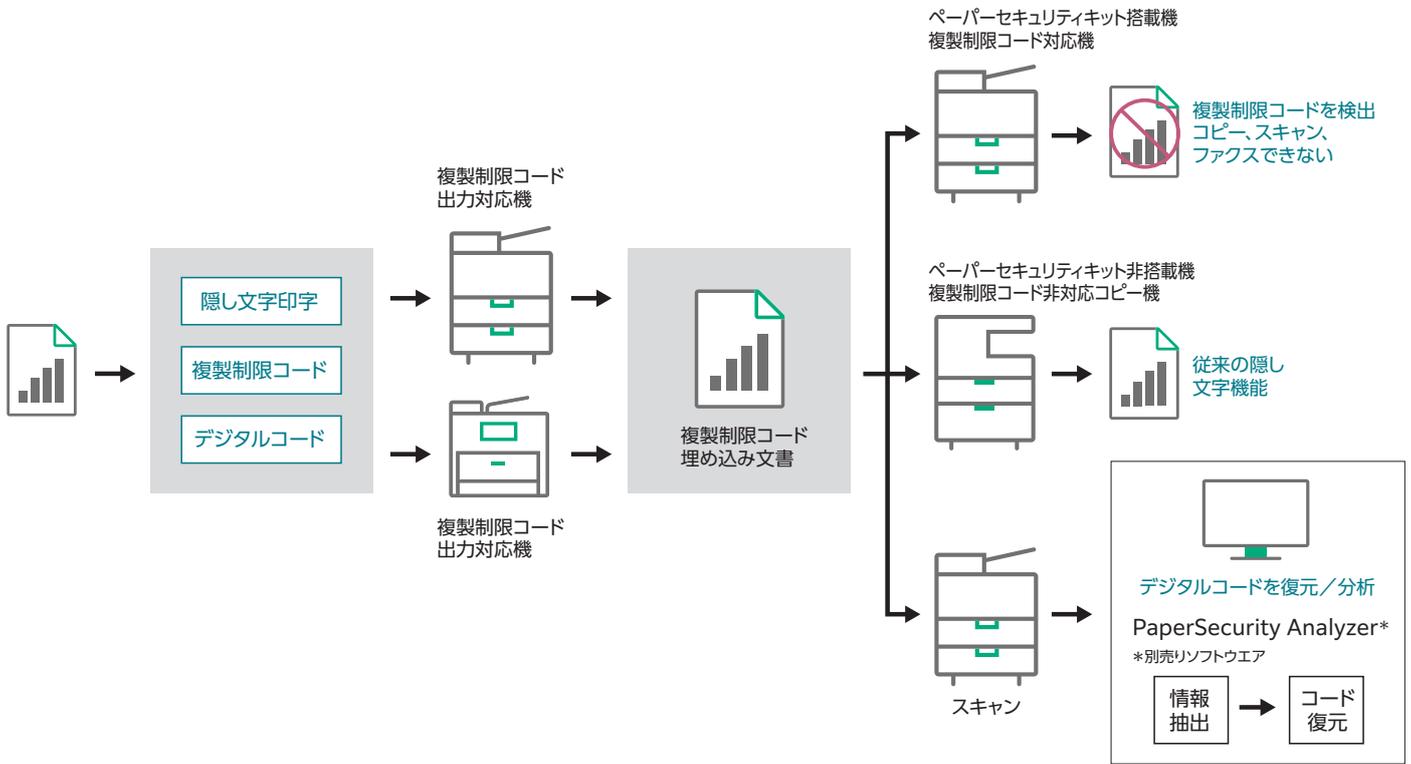
コピー

背景パターン指定

背景は8種類のパターンから選択でき、色は黒、マゼンダ、シアンから、印刷の濃度も3段階より設定できます。

フッター機能

隠し印刷に指定した文字列や任意の文字列をフッターにもプリントできますので、埋め込まれた文字列を、容易に確認することができます。



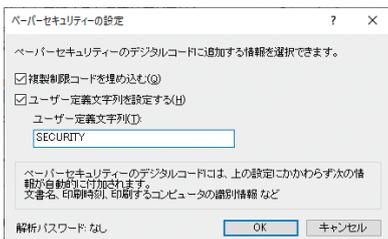
デジタルコードの埋め込みにより不正複製を抑止

従来の目で見えて分かる「隠し文字」に加え、目で見えて判別不可能な「複製制限コード」と「デジタルコード」を「デジタル情報」として文書に埋め込むのがペーパーセキュリティ機能です。出力履歴の分析なども行え、情報漏えいに対して更なる牽制・抑止効果が期待できます。

コピーやプリントを制限する複製制限コード*1*2

コピー時やプリント時に、複製制限コードやジョブ情報といったデジタルコードを埋め込むことができます。複製制限コードが埋め込まれた原稿は、コピー、ファクス、スキャンが行えず、不正複製・配布を抑止します。

*1: 100%検知およびジョブ停止を保証するものではありません。
*2: オプションのペーパーセキュリティキットを装着した当社複合機・プリンターのみに対応です。対応機種一覧をご確認ください。



出力指示したPCを分析できる「デジタルコード」

ジョブの開始時刻日時、文書名、クライアントMACアドレスなどを、目で見えて判読不可能な情報として文書に埋め込みます。万一、文書が流出した場合にはPaperSecurity Analyzer*で紙文書のデジタルコードを分析することで、「いつ」、「どの複合機・プリンター」で「どのパソコン」から出力したかなども把握できます。

*別売ソフトウェア。

隠し文字印字

「隠し文字」を埋め込むことで、ジョブ実行を制限できない複合機でも、白抜き文字を浮かび上がらせることでジョブ実行を抑止します。認証機能との連動により、文書コピー時にユーザーIDを隠し文字として強制的に印字することも可能。こうして埋め込まれた利用者情報から、ユーザーを特定することも容易です。

DocuWorks文書との連携で、隠し文字設定が可能*1

DocuWorks文書の属性情報として、「印刷*2する場合は、隠し印刷付きでのみ許可する」という設定が付与できます。これにより、プリント後の情報漏えい抑止効果、および、オリジナルとコピー後の複製物との識別効果を保持させた状態でDocuWorks文書を生成できます。

*1: 設定にはDocuWorks 8以降およびDocuWorks Plug-inが必要ですが。

*2: 印刷にはDocuWorks 8以降またはDocuWorks Viewer Light 8以降とTrustMarkingBasicが必要です。

パスワード設定

TrustMarkingBasicで使用するプリンターの特定やその設定内容は、パスワードで管理できます。パソコンを複数のユーザーで共有する場合に利用者が間違えて設定を外したり、勝手に変更したりすることを防ぎます。

※文書の複製制限、デジタルコードの埋め込み機能、隠し文字の牽制効果は、常に機能することを保証するものではありません。原稿や設定条件によっては機能が有効に働かない場合があります。

TrustMarkingBasicの主な仕様

主な機能

項目	内容
隠し文字列	最大3行まで選択可能 ^{*1}
	指定可能情報: ユーザー名、ホスト名、IP アドレス、User ID/ ジョブオーナー名、印刷日時、ユーザー入力による任意文字列(全角12文字、半角24文字まで)
	文字フォント OSにインストールされている任意のフォント ^{*2} から選択可能
	文字サイズ 7 ~ 255まで1ポイント単位で設定可能
	文字修飾 太字、斜体、太字/斜体から選択
	コピー後の浮き出し効果 浮き出し、白抜きから選択 ^{*3}
	連番指定 部数単位で連番(連番隠し印刷)を選択可能
隠し印刷機能	配付リスト指定 配付先のリスト(CSV形式)を参照して部数ごとに隠し印刷が可能
	色指定 黒、マゼンタ、シアンから選択 ^{*4}
	濃度/コントラスト指定 濃度3段階×コントラスト9段階の組み合わせで設定可能 ^{*5}
	背景画像 オリジナルデザインの背景画像を指定可能 ^{*6}
ペーパーセキュリティ機能	複製制限コード 埋め込み ペーパーセキュリティキット搭載複合機で複製制限と検知される信号を背景パターンとして描画指示が可能
	デジタルコード 埋め込み 複製制限の信号と同時にジョブ情報等のデジタルコードを背景パターンとして描画
その他	フッター印刷 隠し文字列のフッター印刷、任意の文字列の指定も可能
	文字列スタンプ印刷 指定した文字列を文書の背景に目で見えるように埋め込む機能
	スタンプ色 黒、マゼンタ以外に任意の色指定が可能
	パスワード設定 設定変更を制限するパスワードの設定が可能。第三者による隠し印刷内容の変更が不可能となる。
	API TrustMarkingBasic SDK ^{*7} により外部ソフトウェア連携が可能となるAPIを提供

*1: ペーパーセキュリティ設定時は2行から選択。*2: 一部制限があります。*3: ペーパーセキュリティ設定時は白抜きのみ。
*4: ペーパーセキュリティ設定時はシアン選択不可。*5: ペーパーセキュリティ設定時は固定(普通)。
*6: オリジナルデザイン背景画像作成は別途有料サービスです。
*7: TrustMarkingBasic SDKは本体に標準では含まれておりません。別途発注していただく必要があります。

動作環境

項目	内容
対応OS ^{*1}	Windows 10 (32ビット) 日本語版 Windows 10 (64ビット) 日本語版 Windows 8.1 Update (32ビット) 日本語版 Windows 8.1 Update (64ビット) 日本語版 Windows 8.1 (32ビット) 日本語版 Windows 8.1 (64ビット) 日本語版
CPU ^{*2}	1 GHz以上の32ビット(x86)プロセッサ、または64ビット(x64)プロセッサ
ハードディスク容量	300MB 以上(インストール時には約10MB 必要) ^{*3}
メモリー容量	推奨256MB以上
ネットワーク	10BASE-TX、100BASE-TX対応ネットワークカードを推奨
必要なハードウェア	インストール時にはCD-ROMドライブが必要
必要なソフトウェア	接続されているプリンターのプリンタードライバーが必要
プリンターとの接続	TCP/IP(LPR)

*1: プリンタードライバーの対応に依存します。
*2: 各OSの推奨値に準拠します。
*3: 出力データに依存します。

PaperSecurity Analyzerの主な機能

項目	内容
分析情報	・デバイス(複合機)を特定する情報 ・ジョブの開始日時 ・ジョブ種別 ・利用者情報 ・文書名 ・相手先情報 ・MACアドレス ・UUID 等

PaperSecurity Analyzerの動作環境

項目	内容
対応OS	Windows 10 (32ビット) 日本語版 Windows 10 (64ビット) 日本語版 Windows 8.1 Update (32ビット) 日本語版 Windows 8.1 Update (64ビット) 日本語版 Windows 8.1 (32ビット) 日本語版 Windows 8.1 (64ビット) 日本語版
CPU ^{*1}	2 GHz以上の32ビット(x86)プロセッサ、または64ビット(x64)プロセッサ
ハードディスク容量	300MB 以上(インストール時) ^{*2}
メモリー容量	512MB 以上(対応OS が動作可能な容量)
必要なハードウェア	インストール時にはCD-ROMドライブが必要

*1: 各OSの推奨値に準拠します。
*2: 入力データに依存します。

TrustMarkingBasic の動作環境などの最新情報については当社の公式サイトをご覧ください。

[more info fujifilm.com/fb/product/software/trustmarking_basic](https://www.fujifilm.com/fb/product/software/trustmarking_basic)

FUJIFILM

富士フイルム ビジネス インベーション株式会社
〒107-0052 東京都港区赤坂9-7-3

お問い合わせは
0120-27-4100

受付時間: 土、日、祝日および当社指定休業日を除く9時~12時、13時~17時。フリーダイヤルは、海外からはご利用いただけません。また、一部のIP電話からはつながらない場合があります。※お話の内容を正確に把握するため、また後に対応状況を確認するため、通話を録音させていただくことがあります。

この商品に対するお問い合わせは、下記の営業担当へ…

●記載内容及び商品の仕様、外観等は改良のため予告なく変更する場合があります。●FUJIFILM、およびFUJIFILMロゴは、富士フイルム株式会社の登録商標または商標です。●TrustMarking、TrustMarkingBasic、DocuWorks、DocuWorks Viewer Light は、富士フイルムビジネスインベーション株式会社の登録商標または商標です。●Microsoft、Windowsは、米国マイクロソフトコーポレーションの米国および、その他の国における登録商標です。●Pentiumは、アメリカ合衆国およびその他の国におけるインテル コーポレーションまたはその子会社の登録商標です。●その他の社名または商品名等は、それぞれ各社の商標、または登録商標です。

この印刷物は環境に配慮した用紙を使用しています。この印刷物の内容は2021年9月現在のものです。 DGE-1411 2104-1